

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米100%」

# 両沼地方稲作情報 第2号

平成29年4月18日

発行： 福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)

” 金山普及所 (電話0241-54-2801)

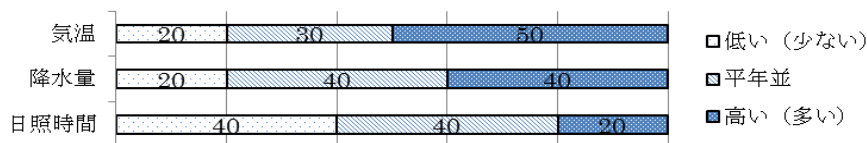
J A会津よつば みどり地区本部、各営農経済センター

## 1 気象情報(平成29年4月13日 仙台管区气象台発表「東北地方1か月予報」より抜粋) <4月15日~5月14日までの天候見通し>

天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



## 2 今後の作業について

時期	5月			6月
	上旬	中旬	下旬	上旬
生育ステージ		移植→活着期	分けつ期	
水位		深水	浅水	
作業		田植え		
		除草剤散布		

### 【作業内容】

- ・ 移植直後から活着するまでは、苗が水没しない範囲(5~7cm)の深水で管理し、植え痛みを少なくしましょう。活着後は水深を3cm程度にして水温を上昇させ、稲の生育を促進させましょう。  
→水温を15℃以上確保できると成長が促進されます。
- ・ 補植作業は5月末までに完了しましょう。補植は手間がかかるため、3株以上連続して欠株している所だけで十分です(3株までなら減収しません)。
- ・ 補植作業後は、置き苗の処分を早めに行いましょう。置き苗は葉いもちの発生源になります。
- ・ 表層剥離が発生すると水温が低下し、生育が遅れる原因となります。また、除草剤散布後では、薬剤の処理層ごとめくれてしまいます。発生した際には、2~3日程度落水して、はがれた部分を元に戻すことで、除草剤の処理層を活かしつつ表層剥離を抑えることができます。



☆春の農作業安全運動期間中です！〔4/1~5/31〕  
安全な農作業を心掛けましょう。

### 3 除草剤の使用について

初中期一発剤の防除体系を基本とし、雑草が多い場合は、初期剤と初中期一発剤を組み合わせましょう。ノビエの葉齢と使用時期に注意して施用してください。

#### (1) 初中期一発体系の場合

「移植直後」から使用できるものと、「移植後3日～」や「移植後5日～」のものなど、剤により使用できる時期が異なるので注意が必要です。ノビエに対する効果は、「～ノビエ 2.5 葉期」が多いです。

#### (2) 初期剤＋初中期一発剤(中期剤)体系の場合

田植え後に初期剤を散布する場合は、田植え後できるだけ早く散布しましょう。使用時期は、「移植直後～ノビエ1葉期まで」のものが多く、「ヒエが生えてきたのを確認してから」では手遅れの場合もあります。残草を見ながら必要に応じて中期剤を施用してください(表1、2参照)。

表1 主な初中期一発剤の種類(例)

薬剤名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	使用回数	使用方法
トップガン フロアブル	水田一年生 雑草等	移植直後～ノビエ 3 葉期。但し、 移植後 30 日まで	砂壤土～埴 土	500ml/10 a	1 回	原液湛水 散布
ボデーガー ドプロ 1キロ粒剤	水田一年生 雑草等	移植後 5 日～ノビエ 3.5 葉期 た だし、移植後 30 日まで		1kg/10a	1 回	湛水散布
ウィナー フロアブル	水田一年生 雑草等	移植直後～ノビエ 2.5 葉期。但 し、移植後 30 日まで		500ml/10 a	1 回	原液湛水 散布又は 水口施用
クサオウジ1 キロ粒剤75	水田一年生 雑草等	移植直後～ノビエ 2.5 葉期。た だし、移植後 30 日まで	砂壤土～埴 土	1kg/10a	1 回	湛水散布

表2 主な中期剤の種類(例)

薬剤名	適用雑草名	使用時期	使用量		使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
クリンチャー バスME液剤	水田一年生 雑草等	移植後 15 日～ノビエ 5 葉期。但し、収穫 50 日前まで	1000ml /10a	70～ 100L/10a	2 回以内	落水散布又はごく浅く 湛水して散布
バサグラン液 剤(ナトリウム 塩)	イネ科を除 く水田一年 生雑草等	移植後 15～55 日。 但し収穫 50 日前まで	500～700 ml/10a	70～ 100L/10a	2 回以内	落水散布又はごく浅く 湛水して散布

#### ◎除草剤をうまく効かせるポイント

- ・ 散布後、最低 1 週間は落水や掛け流しをしないこと!  
→処理層形成が妨げられ、十分な効果が得られません。  
→河川等への除草剤の流出により、環境汚染につながります。
- ・ 極端な浅植えや除草剤散布後の補植作業を行わないこと!  
→薬害につながるだけでなく、処理層を壊す要因にもなります。

**農薬を使用する場合は、使用基準（適用作物、使用量、使用回数、使用時期等）を遵守しましょう**

御不明な点は最寄りのJA支店または普及所までお問い合わせください。